

第4章 施策の展開

2 施策の展開方向 稼げる農林水産業

基本施策Ⅰ 次世代を担う人材の確保・育成

稼げる農林水産業の実現に向け、次世代の農林水産業を担う、経営感覚に優れた農林漁業者や新規就業者を確保・育成するとともに、農林水産業の経営に意欲を持ち成長力のある企業の参入を促進します。

第4章 施策の展開

2 施策の展開方向

稼げる農林水産業

基本施策Ⅰ 次世代を担う人材の確保・育成

《現状と課題》

担い手の減少・高齢化が進み、生産力の低下が懸念される中、今後も本県農林水産業を維持発展させていくためには、地域をけん引する経営体が育ち、所得が確保できる「稼げる農林水産業」が確立され、本県農林水産業を魅力ある職業として選ぶ若者を増やしていくことが重要です。

地域をけん引する経営体の育成のため、経営管理能力の向上を図るとともに、省力化機械等の導入のほか、経営発展に伴い必要となる労働力の確保に向けた支援が必要となっています。

また、新規就業者の確保に当たっては、相談・就業支援から定着までの地域での支援体制の強化が必要です。

あわせて、農林水産業の経営に意欲を持ち、成長力のある企業の参入を促進するため、スムーズな参入に向けたサポートを手厚く行っていく必要があります。

一方、農業協同組合や漁業協同組合等の団体については、組合員や職員が減少傾向にある中、地域から期待される役割を十分に発揮するため、経営基盤を強化していくことが必要です。



農林水産就業相談会



漁業体験

第4章 施策の展開

2 施策の展開方向

稼げる農林水産業

基本施策Ⅰ 次世代を担う人材の確保・育成

《基本方向》

1 農林漁業者の経営力の向上

農業経営力の向上に向け、ビジネススキルの習得に加え法人化などの経営の発展段階に応じた支援を行うとともに、労働力の確保を進めます。また、農林漁業者の生産性・収益性の向上に必要な機械等の導入や生産体制の改善を支援します。

2 農林水産業を支える多様な担い手の確保・定着

県内外から新規就業者を広く確保していくため、農業・林業・漁業の関係団体が揃う就業相談会を開催するとともに各地域において就業相談に応じるほか、農業・漁業ではワンストップ相談窓口を通じた伴走型支援を行い、就業啓発から独立・定着までを総合的に支援します。

また、企業の農業参入を促すため、農地のマッチングや参入企業による農地整備等を支援します。

成果
目標

新規就農者数

339人/年 ▶ 400人/年
(令和6年度)

農業に参入した企業
(リース法人)の数

131法人 ▶ 228法人
(令和5年度)

認定林業事業主数

14者 ▶ 15者
(令和6年度)

新規漁業就業者数

22人/年 ▶ 50人/年
(令和6年度)

3 農業協同組合及び漁業協同組合の経営基盤強化

地域の経済活動の拠点である農業協同組合や漁業協同組合では、組合員や職員が減少傾向にあり、組合運営に影響が生じていることから、組合員や地域から期待される役割を十分に発揮できるよう、経営改善の取組を支援することにより、経営経営基盤の強化を促進します。



事業体向けの技術研修



千葉県海洋人材確保・育成センター

I – 1 農林漁業者の経営力の向上【主な取組】

(1) 稼げる農業を実現できる経営体の育成

- ◆ 経営発展に向けた法人化を進め、地域の雇用の受け皿となる大規模経営体など、本県農業をけん引するトップランナーを育成することを目指して、農業者をソフト・ハードの両面から経営の発展段階に応じて支援します。
- ◆ 農業経営に必要なビジネススキルや、デジタル機器などの活用による生産の効率化等について学ぶ場を提供し、経営者や右腕となる人材の経営管理能力の向上を促します。また、主体的に経営参画できる女性農業者や農業後継者の段階的な育成を図ります。
- ◆ ワンストップの相談窓口である「千葉県農業者総合支援センター」や関係機関と連携し、法人化等を進める際の経営課題の解決に向け、専門家を派遣し伴走型支援を行います。また、自然災害や市場価格の低下等の経営リスクに備えるため、収入保険などの各経営体に適したセーフティネットへの加入を促し、経営の安定化を図ります。
- ◆ 地域農業の将来像を明確にする地域農業経営基盤強化促進計画（以下「地域計画」とする。）に位置付けられるなど、農地の集積・集約化等による規模拡大や販売額の増大に意欲的な認定農業者等に対し、農業制度資金や国庫事業の活用も促進しながら、省力化機械や収量・品質の向上に必要な施設・機械等の導入を支援します。

- ◆ これらに加え、地域農業の維持も重要であることから、農作業や機械の共同化等により地域ぐるみで効率的な営農を行う集落営農組織などの組織経営体の育成及び経営継続を支援するとともに、地域農業や集落機能を支える小規模な経営体についても営農が継続できるよう経営安定に向けた取組を支援します。



発展段階に応じた農業経営体の育成イメージ

I – 1 農林漁業者の経営力の向上【主な取組】

(2) 農業の多様な労働力の確保

- ◆ 県内の農業関係機関・団体等で構成される「千葉県労働力確保県域戦略会議」の開催や「千葉県農業者総合支援センター」との連携により、季節的に集中する農作業に対応する短期労働力の確保や特定技能制度による外国人材の受入れといった多様な人材の活用に向け、雇用に関する研修会の開催等の必要な施策の推進に取り組みます。
- ◆ 農業経営の規模拡大に伴って必要となる労働力を安定的に確保できるよう、就業者が安心して働くための労災保険等の就業条件整備に加え、熱中症や農作業事故を防ぎ安全に農作業を行うための研修会の開催、労働環境の整備・改善等の取組を支援します。また、労働安全の確保にもつながる農業生産工程管理(GAP)の取組を推進します。
- ◆ 作業負担の軽減等のため、酪農ヘルパーやコントラクターを活用した作業の外部委託等の取組を推進するとともに、ドローンによる防除等の新たな農業支援サービスを行う事業者の育成と活用を図るなど、労力補完の仕組みづくりを進めます。
- ◆ 農福連携の取組についての農業者の理解促進と取組意欲の向上を図り、労働力の確保と障害のある人の就労につなげます。

(3) 林業事業体の育成

- ◆ 林業事業体に対し、経営改善のための研修及び経営診断の実施や、伐採・運材作業の低コスト化及び労働負担の軽減に資する高性能林業機械の活用を支援し、経営基盤の強化を図ります。
- ◆ 森林整備を促進するため、効果的な路網整備の検討や作業工程のコスト分析等、林業技術の改善等に向けた支援を進めていきます。
- ◆ 林業就業者を対象とした、資格取得促進支援や、林業機械の実地研修等を実施し、現場作業の中心的人材の育成を進めます。

(4) 水産業を支える漁業経営力の向上

- ◆ 地域の漁業所得の向上を目指した「浜の活力再生プラン」や複数地域の水産業の競争力強化を目指した「浜の活力再生広域プラン」の作成を指導するとともに、プランに基づく施設整備や省エネ漁船の導入を支援します。
- ◆ まき網漁業や定置網漁業等の経営の安定化に向け、漁業経営改善計画の策定や、漁業経営アドバイザーの派遣による経営改善指導などを支援します。
- ◆ 地域の中核的漁業者による生産性向上対策や、漁業士会による研修活動などの取組を支援し、漁船の操業と航行の安全を図るため、小型漁船に対する船舶自動識別装置(AIS)等の導入推進や、漁船の安全運航に関する研修会の開催等の周知・啓発活動に取り組みます。

I – 2 農林水産業を支える多様な担い手の確保・定着【主な取組】

(1) 農業を支える新たな担い手の確保や企業参入の促進

- ◆ 新たな担い手の確保に向け、「千葉県農業者総合支援センター」や「(公社)千葉県園芸協会」などの関係機関と連携し、民間の就農Webサイト等による本県農業の魅力発信、就農相談窓口の設置や相談会の開催等による相談体制の充実、農業の現場を知る機会の提供を進め、新規就農者の掘り起こしを行います。
- ◆ 新規就農に係る資金等の活用を促進するなど経営が安定するまでの期間を重点的に支援するとともに、農業の基礎知識等を学ぶ各種セミナーを開催し資質向上を支援します。加えて、各地域において関係機関や指導農業士等が一体となり、就農希望者を受入れ、生産技術や販路確保などについて総合的に相談できる体制づくりを進め、新規就農者の確保と定着を図ります。
- ◆ 後継者や第三者等への経営継承についても、研修会の開催や相談窓口を通じた税理士等の専門家の派遣により、円滑に継承が進むよう支援します。
- ◆ 本県農業の担い手育成の中核的な機関である県立農業大学校では、スマート農業技術や6次産業化など、農業経営の高度化にも対応できる農業人材の育成を目指し、教育カリキュラムの強化や施設整備などにより、教育内容や学習環境の充実を図ります。
- ◆ 農業経営に意欲を持ち成長力のある企業に対し、農業参入を促進するため、市町村等と連携しながら農地情報を積極的に収集し、参入相談と農地情報の一体的な提供を行うとともに、企業による農地整備等を支援します。
- ◆ 国や民間企業が主催する展示会やイベント等のあらゆる機会を活用し、本県への農業参入の魅力を広く発信するほか、企業のニーズや成功事例を市町村・農業委員会等の関係機関と共有し、企業の農業参入に対する意識を高めることで、地域主体の農業参入支援を推進します。



千葉県立農業大学校

I – 2 農林水産業を支える多様な担い手の確保・定着【主な取組】

(2) 森林整備の促進に向けた多様な人材の確保・育成

- ◆ 多様な人材の確保・育成のため、「千葉県林業労働力確保支援センター」等が行う、林業就業希望者と林業事業体とをつなぐ面談会の開催を支援するほか、市民活動団体等に対して、安全管理の徹底や計画的な森林整備の実施など、林業技術の改善等に向けた取組を支援します。また、建設業などの他業種の事業者を対象とした森林・林業の知識・技術を習得するための講習会を開催し、新規事業者が円滑に参入できるよう取り組みます。
- ◆ 里山の保全や海岸県有保安林の再生に向けた地域住民や企業、市民活動団体等による森林整備活動を促進します。(再掲)



ハーベスタによる伐倒作業

(3) 水産業を支える新たな担い手の確保・定着

- ◆ 新規漁業就業者を確保・育成するため、水産関係団体と連携し、就業希望者の相談・支援の総合窓口となる「千葉県海洋人材確保・育成センター」を運営し、就業相談から独立するまで、新規就業者の段階に応じた伴走型の支援をワンストップで行います。
- ◆ SNS等を活用し、就業情報を提供するほか、漁業就業相談会などを実施し、都市部も含めた地域内外の潜在的な就業希望者の掘り起こしを進めます。
- ◆ 就業希望者が漁業への適性を判断するための漁業体験、実際の操業の中で漁業技術を習得する漁業研修を実施するとともに、独立及び海技士免許の取得を目指す漁業者に対し、それぞれの漁船・漁具のリース方式による導入費用や免許取得に必要な技能訓練の経費を助成します。
- ◆ 漁業協同組合や市町村と連携し、各地域の操業形態に応じて、船団や漁業者グループ等の組織として後継者を育成し、漁業への就業・定着を目指す「就業モデル」を構築するとともに、優良なモデルの他地区への横展開を進め、新規就業希望者の受入対策の強化を図ります。

I – 3 農業協同組合及び漁業協同組合の経営基盤強化【主な取組】

(1) 農業協同組合の経営基盤強化

- ◆ 農業協同組合自身が経営の改善に取り組み、組合員や地域から期待される役割を十分に發揮できるよう、経営状況や自己改革の取組に係るヒアリング等を通じて、経営基盤の強化を促進します。
- ◆ コンプライアンスの遵守状況や業務運営状況等を検査・指導することにより、組合員が必要とする事業を持続的・安定的に提供できる体制づくりを支援します。

(2) 漁業協同組合の経営基盤強化

- ◆ 漁業協同組合自身が作成した計画の実行による経営改善の取組を水産関係団体と連携して支援するほか、経営や法令関係の知識等に習熟した役職員の育成を支援することにより、経営基盤の強化を促進します。
- ◆ コンプライアンスの遵守状況や業務運営状況等を検査・指導することにより、漁村地域の経済活動の拠点として、その役割を十分に發揮し、組合員が必要とする事業を持続的・安定的に提供できる体制づくりを支援します。